

令和4年度 災害廃棄物処理担当者向け勉強会 (近畿ブロック)

日時：令和4年8月22日（月）
13：30～16：00

場所：AP大阪茶屋町 Aルーム
(オンライン同時配信)

プログラム

◆主催者あいさつ（13:30～13:35）

環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎

◆講演 1 （13:35～14:45）

◇休憩10分

◆講演 2 （14:55～15:55）

◆閉会 （15:55～16:00）

講演概要

◆講演 1 （13:35～14:45 ※質疑応答10分含む）（講演 70分）

「災害時におけるトイレ・し尿処理対策」

岡山 朋子氏（大正大学 地域創生学部 地域創生学科 教授）

<講演概要>

災害によって停電・断水が起これば、地域では深刻なトイレ問題が起こる。

講師はこれまで被災者や被災自治体を対象としたアンケート調査を実施しており、それらの調査研究により得られた知見から、特に自治体が災害時にどのようにトイレ・し尿対策を実施するべきかを解説する。

◆講演 2 （14:55～15:55 ※質疑応答10分含む）（講演 60分）

「災害時のし尿処理施設の対応に係る課題と対策」

森岡 照久氏（大洲市環境センター 次長）

白石 学氏（大洲・喜多衛生事務組合 専門員兼業務係長）

<講演概要>

愛媛県大洲市は、平成30年7月豪雨災害で、大洲・喜多衛生事務組合 清流園（し尿処理施設）が浸水し、し尿処理施設が稼働できない状態となり、近隣の松山衛生事務組合などに受け入れ要請を行った。

今回の講演では、し尿処理施設の被災経験をもとに、処理施設や自治体において必要な対応等について説明する。

主催：環境省近畿地方環境事務所